

1月 給食だより



令和6年 1月 1日
厚田学校給食センター
TEL・FAX：78-2141



今月の給食目標

「給食の歴史を知ろう」

学校給食はいつ、どのようにしてはじまったのでしょうか。始まりから現在に至るまでについて考えてみましょう。



1月24日～30日は「全国学校給食週間」とされています。学校給食の意義や役割について知り、充実と発展を図ることを目的に定められました。学校給食の歴史や毎日の給食について、ご家庭で話題にしていいただければと思います。



学校給食の歴史



学校給食は明治22年、山形県鶴岡市の忠愛小学校でお弁当を持ってこれない児童のために始まりました。その後、給食は全国に広まりましたが、戦争で一時中止になり、昭和21年12月24日に一部の地域から順に再開しました。12月24日は冬休みに入るため、1か月後の1月24日から1週間を「全国学校給食週間」としました。現在の学校給食は、栄養補給だけでなく、子どもたちに食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身につけ、健やかな体と豊かな心を育むための力となれるよう日々努めています。

明治22年	昭和22年	昭和27年	昭和52年	現在
<ul style="list-style-type: none"> ・おにぎり ・焼き魚 ・漬物 	<ul style="list-style-type: none"> ・ミルク（脱脂粉乳） ・トマトシチュー 	<ul style="list-style-type: none"> ・コッペパン ・ミルク（脱脂粉乳） ・クジラの竜田揚げ ・サラダ など 	<ul style="list-style-type: none"> ・カレーライス ・牛乳 ・果物 ・サラダ など 	<p>様々な料理を組み合わせ、栄養はもちろん、地場産物や食文化も学べる給食となるよう努めています。</p>



料理に込められた
願いを知ろう

おせちのきもち



「おせち」とは、もともと季節の変わり目の節日（せちにち）に食べる料理のことでしたが、今ではお正月に食べるお祝いの料理をさします。それぞれの料理には、新しい年がよい年となるよう、さまざまな願いが込められています。

田作り・たたきごぼう



田作りは、昔いわしを田んぼの肥料にしたことから、たたきごぼうは豊作になると飛んでくる黒い鳥にあやかり、どちらも作物の豊作を願って食べられます。

数の子・さといも・八つ頭



数の子、さといも、八つ頭は、どれも卵やいもの数が多いことから、子孫繁栄を願って食べられます。

黒豆



黒には魔よけの力があるとされ、「まめ（元気）で暮らせるように」と願って食べられます。

伊達巻き・きんとん



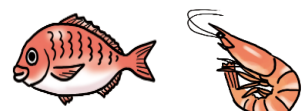
伊達巻きは巻物（書物）に似ているので、知識が増えるように、きんとんはお金持ちになるように願って食べられます。

昆布巻き・くわい・れんこん



昆布巻きは「よろこぶ」、芽が出たくわいは「めでたい」に通じ、れんこんは「先が見通せる」として食べられます。

たい・えび



たいは「めでたい」に通じ、えびは腰が曲がるまで長生きできますように願って食べられます。